

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
国語 I (古文): Japanese I		1MSB	1	50分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		三浦 美枝:MIURA Yoshie					
授 業 概 要	日本の古典文学における様々なジャンルの作品を鑑賞します。毎時間古文の音読を行うことによって日本語の美しさを味わいつつ、作品を読みながら、まずは基本的な文法事項を学習します。その上で作品の読解を通して、人々の生活・風習・ものの考え方など時代によって変わっていくものと、現代の私達も共感できる時代を経て変わらない人間の情感とを読み味わいながら、日本古典文学の世界を楽しみましょう。						
	到達目標			評価方法			
(1) 正しく音読ができるようにする。 (2) 基礎的な古語・古典文法を理解し、現代語訳できるようにする。 (3) 各作品の主題をとらえ、鑑賞する力を養う。			定期試験(中間・期末試験)80% 小テスト10% 提出物10% 国語 I (3単位)の最終評価は、国語 I (現代文・漢文)と国語 I (古文)を2:1として評価する。				
学習・教育目標		JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	ガイダンス	授業の目的、内容などを説明する。	第16	伊勢物語	『伊勢物語』の文学的知識を深める。	
	第2	和歌	『古今和歌集』から桜の和歌を鑑賞する。	第17	伊勢物語	「芥川」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第3	和歌	和歌を音読してそのリズムを味わい、作者、作歌事情、修辞法などを学習しつつ鑑賞する。	第18	伊勢物語	作中の和歌を鑑賞し、歌物語の作品の特徴をとらえる。	
	第4	宇治拾遺物語	『宇治拾遺物語』の文学的知識を深める。	第19	平家物語	『平家物語』の文学的知識を深める。	
	第5	宇治拾遺物語	「児のそら寝」を読み、古文の仮名遣いや品詞の分類について学習する。	第20	平家物語	「祇園精舎」を読解し、そこに表された無常観について考える。	
	第6	宇治拾遺物語	「児のそら寝」を読み、動詞の活用や係り結びの法則について学習する。	第21	平家物語	「先帝身投」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第7	宇治拾遺物語	「児のそら寝」を読解し、説話文学を読む面白さを味わう。	第22	平家物語	「先帝身投」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第8	中間のまとめ	前期の中間のまとめとして、試験を実施する。	第23	中間のまとめ	後期の中間のまとめとして試験を実施する。	
	第9	徒然草	『徒然草』の文学的知識を深める。	第24	土佐日記	『土佐日記』の文学的知識を深める。日本語の文字表記の歴史を学習し、この作品の文学史的意義を理解する。	
	第10	徒然草	「つれづれなるままに」の内容を読み取る。	第25	土佐日記	「門出」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第11	徒然草	「高名の木登り」を読み、助動詞を学習しつつ、主題をとらえる。	第26	土佐日記	「門出」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第12	竹取物語	『竹取物語』の文学的知識を深める。	第27	奥の細道	『奥の細道』の文学的知識を深める。	
	第13	竹取物語	「天の羽衣」を読み、敬語を学習する。	第28	奥の細道	「立石寺」を音読し、古語・文法を学習しつつ読解する。	
	第14	竹取物語	「天の羽衣」を読み、古語・文法を学習しつつ読解する。	第29	奥の細道	作中の俳諧を味わい、俳諧についての基礎知識を学習する。	
第15	竹取物語	「天の羽衣」を読み、古語・文法を学習しつつ読解する。	第30	一年間のまとめ	一年間の学習内容のまとめを行う。また授業評価のアンケートを実施する。		
自学自習の内容		次回学習する古典作品をノートに書写し、音読する。					
関連科目	国語 I (現代文・漢文)						
教科書	精選 国語総合 (東京書籍)						
参考書	改訂 増補 カラー版 新国語便覧 (第一学習社)						
授業評価・理解度	最終回到授業評価アンケートを行う。						
副担当教員	畑村 学						
備考							